

| | |
|-----|------------------------------------|
| 日 時 | 平成28年12月14日（水） 3校時（10：25～11：10） |
| 場 所 | すみれ組教室 |
| 対 象 | 小学部 3・4年（6名） |
| 指導者 | 阿部大樹(T1) 立原幸枝(T2) 有馬多喜子 (T3) |

I 単元名 「みんなでつくろう！すみれクリスマスパーティー」

II 授業づくりの視点

1 単元の設定【児童の好きなことを活動に取り入れ、意欲的に取り組める単元に】

本単元は、「すみれクリスマスパーティー」に向け、クリスマス飾りやグッズを制作する活動である。パーティーに向けた制作活動は10月に取り組んだハロウィンパーティーにおいて児童は経験しており、自分たちが作った飾りに囲まれ、会食やダンスと存分に楽しむことができた。また、パーティーに向けた制作活動においては、色・形・デザインを工夫して制作する児童、道具の使い方が分かり進んで制作する児童、自分たちの作った飾りを見て楽しむ児童等、意欲的な姿が多く見られた。

そこで本単元では、この季節、児童みんなが楽しみにしている「クリスマス」をテーマにし、児童が見通しをもって楽しみながら取り組めるように、経験したことのあるパーティーに向けた制作活動を中心に設定した。また、パーティー当日に自分たちの頑張りをより感じられるように、教室を彩る飾りだけではなく、パーティーで活用するプログラムやお菓子カップの装飾も含めたクリスマスグッズの制作活動を行う。

2 単元の計画【繰り返しの活動の成果を、パーティー本番に感じられるような計画に】

第1次はオリエンテーションで10月に取り組んだハロウィンパーティーの様子を振り返ったり、パーティーのシンボルとなる「ビッグツリー」を制作して教室に設置したりすることで、これから始まる単元に期待感をもてるようにしたい。第2次は本単元を中心とする制作活動である。繰り返し活動に取り組むことで、自分たちの作った飾りで教室が彩られていく変化に気付き、にぎやかで楽しい雰囲気を感じられるようにしたい。第3次はパーティー当日である。自分たちが作った飾りやグッズを活用することで、自分たちの頑張りに気付き、達成感を感じられるようにしたい。第4次は本単元の学習の様子を写真で見たり、「すみれ新聞」を作成したりして、自分たちの頑張りを振り返ることができるようにしたい。

3 活動内容【自分の力を生かし、達成感を感じられる活動内容に】

本単元を中心とする制作活動では、3つのグループ（ガーランドグループ・プログラムグループ・お菓子カップグループ）を編成しているが、児童の得意なことや好きなことを中心において活動を設定しているため、制作における素材や道具、方法はグループ内でも児童によってそれぞれ異なる。また、自分の活動が分かり、見通しをもって取り組むことができるように、単元の期間中は活動内容を固定化する。さらに、「できた」という喜びや達成感を感じられるように、ガーランドの紐やプログラムボード等、児童が作ったものをすぐに飾るこ

とができる場所を設置する。パーティー当日には、自分たちで作ったものを見たり、活用したりしながら、会食やダンス等をしてみんなで楽しい時間を共有したい。

4 学習内容への支援【活動を楽しみ、自分から進んで取り組めるように】

児童が進んで活動に取り組めるように、形・色・質感・大きさ・量等、児童に合った素材や道具を準備する。自分で工夫しながら飾りを作る児童には、いろいろな素材や道具を準備し、自由に選択できるようにする。一方、自分で考えて飾りを作ることが難しい児童には何を作ればいいのか分かるように、完成品の手本を示したり、イメージしやすい特徴的な形や色の材料（雪だるま型の紙・赤色に塗った紙コップ・トナカイの角のパーツ等）を示したりする。また、楽しい雰囲気で行うことができるようにBGMとしてクリスマスソングを流す。

5 協働的活動への支援【みんなでできたという一体感を感じられる活動にするために】

「みんなで作る」という一体感を感じられるように、できるだけ互いの活動が見える配置にし、教師も児童とともに活動をし、励ましや称賛の声掛けをする。また、単元をとおして、児童も教師も一緒になって「ビッグツリー」や「すみれ新聞」の制作、「みんなでつくろう！すみれクリスマス」の掛け声等、みんなで一つのことに取り組む活動を重ね、一体感をもって取り組むことの楽しさや喜びを感じられるようにしたい。

Ⅲ 単元の目標【単元で目指す主体的な姿】

- 1 自分の活動が分かり、すみれクリスマスパーティーの準備に意欲的に取り組む。
- 2 友達や教師と一緒に、すみれクリスマスパーティーを楽しむ。

Ⅳ 単元計画（総時数15時間、15日間）

| | 主な活動内容 | 月 日 | 時 数 |
|-----|--|-------------------------|--------------------|
| 第1次 | オリエンテーション ビッグツリー作り | 11月28日(月) ～11月29日(火) | 2時間 |
| 第2次 | 制作活動 ・ガーランド作り ・プログラム作り ・お菓子カップ作り ・衣装作り | 11月30日(水) ～12月19日(月) | 11時間 (本時7/11時間) |
| 第3次 | すみれクリスマスパーティー | 12月21日(水) | 1時間 |
| 第4次 | 振り返り | 12月22日(木) | 1時間 |

Ⅴ 本時の授業

1 本時の授業について

本時は第2次の7時間目に当たり、パーティーに向けてクリスマス飾りやグッズを制作する。これまで繰り返し制作活動に取り組んできたことで、自分の活動が分かり、少しずつ自分で取り組むことが多くなってきている。そこで本時は「できた」という喜びをより感じられるように、児童が作った飾りを「すみれシアター」で紹介し、みんなで見合う時間を設定する。

2 本時の目標【本時で目指す主体的な姿】

クリスマスの飾りやグッズ作りに意欲的に取り組む。

3 本時の展開

| 学習内容 (時間) | 学習活動 | 支援上の留意点 |
|------------------|--|---|
| 1 挨拶 | ・教師の号令に合わせて、礼をする。 | ・教師は姿勢を正し、良い挨拶の手本を示す。 |
| 2 ビッグカレンダー確認 (5) | ・取り組んできた日数やパーティー当日の日について確認する。 | ・取り組んできた日数が分かるように、ビッグカレンダー上に印を付ける。 |
| 3 制作活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員で「みんなで作ろう！ すみれクリスマス」の掛け声を言う。 ・材料や道具が入ったケースを自分の机に持っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で活動に入ることができるように、教師は元気良く掛け声を言う。 ・制作活動の始まりが分かりやすいように、掛け声の後にBGMを流す。 ・自分が使用する物が分かるように、材料や道具は児童別にケースに入れて準備する。 |
| | <p><ガーランドグループ> Cさん・Fさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切る・貼る・描く等をして飾りを作る(C) ・ボタンやおはじきを台紙に貼って飾りを作る(F) ・完成した飾りは、黒板前の紐に飾る(C・F) | <ul style="list-style-type: none"> ・切ったり、貼ったりする箇所が分かりやすいように、台紙に印を付ける。 ・机上で台紙が滑らないように、滑り止めシートを置く。 ・自分で飾ることができるように、児童の近くにガーランドの紐を設置する。 |
| | <p><プログラムグループ> Bさん・Dさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切る・貼る・描く等をして飾りを作る(B) ・芋版スタンプを押して、飾りを作る(D) ・完成した飾りは、プログラムボードに飾る(B・D) | <ul style="list-style-type: none"> ・切る箇所が分かりやすいように、台紙に印を付ける。 ・手が止まっているときには、必要に応じて声掛けをしたり、指さしをしたりする。 ・自分で飾ることができるように、児童の近くにプログラムボードを設置する。 |
| | <p><お菓子カップグループ> Aさん・Eさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙コップを装飾をして、サンタクロス等のお菓子カップを作る(A・E) ・完成したお菓子カップは、お菓子カップ置き場に置く(A・E) | <ul style="list-style-type: none"> ・お菓子カップ1つ分に必要な材料が分かるように、材料は小分けにして棚に置く。 ・自分で飾ることができるように、児童の近くにお菓子カップを置く机を設置する。 |
| (25) | | |

| | | |
|--------------|--------------------------|---|
| 4 片付け (5) | ・材料や道具が入ったケースを棚に片付ける。 | ・作業終了をタイマーと声掛けで伝えるようにする。 |
| 5 まとめ | ・「すみれシアター」で本時完成した作品を見合う。 | ・T2・T3は見やすい場所に移動するように促す。 ・注目することができるように「3・2・1」の掛け声とともに提示する。 ・T1が作品について紹介する。 |
| 6 挨拶 (10) | ・教師の号令に合わせて、礼をする。 | ・教師は姿勢を正し、良い挨拶の手本を示す。 |

